

8月22日(水) 本年度第7回(通算2646回) 18時30分～ 釧路プリンスホテル

『クラブ創立記念・アクト合同例会』

担当/理事会・新世代委員会

☆出席報告【会員総数61名 免除7名 出席計算に用いた会員数61名】

本日の出席者 30名 出席率 49.2%

☆メイクアップ

7月2日	足立功一君	(ローター財団地域セミナー)
------	-------	----------------

☆ニコニコ献金

- ・高橋 貢君 ～ 長内先生よろしくお願ひ申し上げます。
- ・小林 裕幸君 ～ 長内先生よろしくお願ひ申し上げます。
- ・長内 宏君 ～ 本日の記念に！よろしくお願ひします。
- ・泰地 浩幸君 ～ アクト合同例会です、よろしくお願ひします。

会長挨拶

☆《高橋会長》☆



ロータリー創立と言えば1905年2月23日、米国イリノイ州シカゴにおいて青年弁護士ポール・ハリスがロータリーを創始し、そのポール・ハリスはシルベスター・シール(石炭商)、ガスターパス・ローア(鉱山技師)、ハイラム・ジョーレー(洋服仕立業)の3人とノースディアボン街127のユニティ・ビルディング内のローアの事務所で最初の会合を開きました。この話は有名な話であります。

さて、我が釧路北クラブは、1958年8月18日RI加盟が承認され、この日が創立記念日となります。創立54年を迎え、北クラブを支えてきた方々の歴史の重さと感謝、そして、これからの北クラブの在り方も考え創立記念をお祝したいと思います。

本日は北クラブきっての重鎮であります長内パスト会長に後ほどお話し頂く事になっておりますのでよろしくお願ひいたします。

ちなみに創立54年、私は現在54歳、今年度RI会長は日本人、私も日本人何かの縁でしょうか？

☆幹事報告☆ 《小林幹事》



- ①米山梅吉記念館より館報20号が届いております。
- ②弟子屈ロータリークラブより8月例会プログラムおよび例会記録が届いています。
- ③全道中学親善硬式野球大会が8月25日26日釧路市民球場にて開催されます。朝8時30分からの開会式9時試合開始となっております。高橋会長と幹事にて参加してまいります。また、この大会には当クラブも後援していますことを併せて報告いたします。
- ④8月10日に締め切りました地区大会の申し込みですが、変更が今月末迄可能ですので参加可能となった会員がおられましたら小林までお申し出ください。



長内 宏 パスト会長

御指名を戴いた長内で御座居ます。ロートル出席不良会員で慙愧に堪えません。最初に深くお詫び申し上げます。

高橋会長年度が愈々スタート致しました。理事各位を始め皆さまの御活躍を心から期待致しております。

先ずスピーチを始めるに当たり、我が北RCを今日まで築き上げて戴いた先輩ロータリアンの皆様に深甚なる敬意と感謝を捧げたいと存じます。

我がクラブも、つい先年、50周年を目出度くお祝致しましたが、早や54歳の壮年クラブとなりました。クラブ以上の古狸の私に毎年の如くこの記念すべく日にスピーチの声がかかって来るのはせめてもの罪滅ぼしと大変面映ゆい一面、お前の話は、格調ばかり高くてさっぱり面白くない! と叱りを戴く事もありますので、今日は釧路北ロータリークラブの事をぐっと格調を落して思い出話をご報告いたしたいと思えます。

御存じの如く、我がクラブは、昭和33年に呱呱の声をあげました。先ず、その当時の社会情勢、世相、釧路の街の様子、又、ロータリー現況はどの様なものだったのか調べてみました。昭和33年の出来事には、アメリカ初の人工衛星、エクスポローラーが打ち上げられました。東京タワーが竣工し、現天皇陛下と皇后陛下の婚約発表があり、ミッチー・ブームが始まりました。暮れには、新1万円札が発行されています。釧路ではどうだったのでしょうか。前年32年に釧路を舞台として展開する映画「挽歌」の市内ロケが行われ、釧路ライオンズ・クラブが創立されています。皆様は、ご存じと思えますが、ロータリーとは肩を並べる国際奉仕団体ですけれども、創始者はメルビン・ジョーンズと言って元ロータリアンです。ロータリーの社会奉仕の在り方に意を唱えて、分かれてライオンズクラブを創立したわけでありませぬ。

昭和33年には、母校、湖陵高校のアイスホッケー部が全国優勝を果たしました。此の時のキャプテンがかって釧路市教育委員を一緒に勤めた、矢口さんでした。又、皇太子殿下が阿寒湖畔経由濯御来釧されていきます。丹頂鶴自然公園が開園しました。因みに当時の国家公務員基本給は19,400円、内閣総理大臣歳費月額15万円、鶏卵1個9円、あんぱん10円、の世の中でした。未曾有の敗戦から13年。混乱と虚脱の中から人々が漸く安心と希望を描ける境地へと進む最中でした。

私の個人史から申し上げます、丁度その年、医師免許を取得し、母校の北大病院の外科に入局、しかし、3ヵ月後の7月には新米医師として、当時浦見町の高台にあった赤十字病院外科に赴任致しました。医者として初のサラリーを貰い何とか独り立ちが可能になったなあと居るうち、翌年には又大学へ呼び戻されました。また、無給の医局員になりました。その年の10月に、同赤病院は現在地へ移転しました。

さて、ロータリーの状況はどうだったのでしょうか。当時、釧路市内では釧路クラブが唯一の地域を代表するクラブでした。近隣では前年32年に出来たばかりの弟子屈クラブのみでした。今と違ってメイキャップをするにも大変な時代でした。北クラブ創立のきっかけに就いて、私の会長年度に講演戴いた、両角PGの御話を以下に引用致します。因みに、両角PGは我がクラブの神様、私も個人的に大変お世話になりました。今から30年前の昭和57年の北クラブ創立記念日の際の両角PG講話より引用致します。

「その頃の道内の状況は各都市で新クラブが誕生、又、ライオンズ・クラブも非常な勢いで組織の拡大が進められて居ました。釧路にも、もう1つアディショナルクラブを創ろうという機運が盛り上がって来ました。釧路クラブは既に地域の先輩や現役での中心的人材を擁して、真に釧路を代表するに相応しいRCに大成しており、更に今後を託するにたる後継者も輩出している。敢えて言うならば人材過剰とも言う状況にあったので、この際あらたにアディショナルクラブを市内に増設する事により職業分類の拡充によってRIの要請するロータリーの拡大を具現しようと決意したのであります。」と言うのが両角さんのお話であります。

このようにして、米内会長以下23名のチャーター・メンバーにより日本で、266番目、道内12番目の我がクラブが誕生致しました。特別代表は釧路クラブの嵯峨晃PG、嵯峨さんは私共夫婦の仲人です。クラブの会場は、当時の北陸銀行釧路支店会議室、ここは私の実家から目と鼻の距離、当時気の利いたホテルなどはなかったのです。創立期の状況を先輩達から漏れ伺った所によると、とにかく、若さと熱意でロータリー学を熱心不乱に勉強したようでした。特に家庭集会は、昔はファイヤーサイド・ミーティング「炉辺会合」と言いました。欧米の家庭で暖炉を前に話し合う気楽な集まりです。この炉辺会合をよく活用して、喧々誇々の勉強会によりロータリーと親睦を学んだようであります。

私が藪にらみする所によれば、日本人はとても真面目です。いや過ぎる位真面目、よくも悪くも日本古来の民族性かも知りません。或る時、この炉辺会合が盛り上がり深更に到って終宴、あまりの成果で、両角PGが入歯を床の間に置き忘れて帰宅したという逸話もお聞きしました。炉辺会合といえ、私自身もこんな経験があります。入会当初の頃の炉辺会合は殆どが会員自宅で行われていました。ある時、招集者が漁業の親方の御宅でした。討論そっち抜きでたらふく御馳走になり、夜も更けて、お開きとなりました。帰り際には大きな生鮭が一本。御土産付きの会合でした。さて自分の所でやる時、お土産は鮭もないしどうしたものだろうと一瞬お礼も忘れてびっくりしたものです。

さらに、私の入会当時の思い出をお話しますと、私は昭和46年1月の入会となっています。当時の会長は村井力先輩、村井順一パスト会長の御父上でした。当時の会場はこの場所に変わりありませんが、ホテル名は違い、地元の前川さんが建てられた、オリエンタル・ホテルの3階北側の一室でした。小ぶりのホテルで今からみると全く田舎ホテルでしたが、それでも釧路初の都市型ホテルでした。やや薄暗い廊下にはテーブルが置かれ、数名の親睦委員のメンバーがフェローシップの青だすきをかけ、ずらりと並んで待ち構え、顔を見せると、すぐさまネームプレートを胸に付けてくれます。自分の事は自分でと育った身の私が、恐縮至極で入室すると、今の丸テーブルとは違い、長テーブルで先輩と向かい合って座るようになってました。そのテーブルに先輩ロータリアンが、また、ずらりと並んで座っていました。新入会員はしばらく飯も通らなかったということは当然でした。そんな雰囲気でした。

今も同様と思いますが新人にとっての最初の難関は、会員卓話でしょう。私も人前でのスピーチは苦手で、はたと困惑しましたが、身近な話がよかろうと、まだ元気で外傷当番を月に2回行っていた頃でしたので「最近の釧路市の外傷当番の実際」などとそれらしきテーマを付けて話させて貰いました。

今日は、ローターアクトの皆さんも御出席ですので、ローターアクトの発足に就いて若干ふれて見たいと思います。

ロータリーでは、以前より青少年の健全育成には熱心に取り組んで参りました。北RCでは既に高校生を対象にしたインターアクト・クラブを提唱していましたが、更に。ロータリーの精神を地域社会に広めるべく、昭和46年10月に釧路北ロータリーアクト・クラブを発会させています。これは、RIが提唱して僅か3年後の事で当地区で最初のアクト・クラブとなりました。最初の頃は、釧路クラブや、その他クラブから会員の応援をいただいております。最初は30名前後で経過していたと思います。この発足に関しては分区代理をされた曾宇パスト会長と両角寛治パスト会長が熱心に取りくんで戴いたおかげであると思います。

ロータリーアクトの初代会長に、当時私の所で事務長をやっていた羽賀博が勤めさせて戴きました。数年後、私の所へロータリーアクト委員長の役が廻って来ました。若干戸惑いましたけれども、昼はロータリークラブの例会、夜はロータリーアクトの例会と2足のわらじを履く1年間でした。

ロータリークラブに入会してまもなくの思い出で、もう一つお話いたします。厚岸でIGF(都市間連合討論会)があったと思います。たまたま、社会奉仕のテーマ討論の話題が、北方領土問題になりました。当時の伊藤ガバナーは、積極的に活動すべきとの意見を披歴、すかさず両角パストガバナーが挙手をしました。

「ロータリークラブは政治的課題に対して決議、表明、声明書を出すような事は禁じられているから、討論するべき場ではない。」と発言致しました。私も厳しい一面を垣間見た思い出でした。ロータリアンと政治活動は、誤解の無いように私の知識でお伝えしますと、ロータリークラブとして政治活動を表明したり、一方を賛成したりという行為は、禁じられている。しかし、一人の個人としてのロータリアンとしては、活動しても構わないという事になっていると思います。

ロータリークラブ入会当初から随分経ちまして、顧みまして、楽しい事、啓発された事、戸惑った事、困った事、数々の思い出は、まだまだありますが、やはり最大の喜びは大勢のロータリアンに巡り合い、友情を深める事が出来たこと、職業奉仕の在り方、自己啓発への努力奨励、そして、地味ではあるが、地域社会への奉仕、ひいては世界平和へのささやかな貢献へ連なることだと考えています。

何か、まとまらない話しになりましたけれども、時間が来たようでございます。指導的役割を捧げて下さった両角パストガバナー、坂本パストガバナーも、既に故人と為られました。これからは、足立パストガバナーを中心に、クラブ全員がひとつになって、更なる発展へと連なり、本年度がまた素晴らしい活動と喜びの年度になることを心より御祈念申し上げ終わりと致します。

ご静聴ありがとうございました。